

ビデオプロジェクター

安全のために

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「安全のために」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VPL-VW745

© 2017 Sony Corporation Printed in China



4732476010

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを →

取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは →

お買い上げ店またはソニーの修理窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は →

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は →

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル..... 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル..... 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

安全のために

ソニー製品は安全に充分に配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る。
- 故障したり破損したら使わずに、ソニーのサービス窓口にご相談する。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる場合があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



下記の注意を守らないと、火災や感電により、死亡や大けがにつながる場合があります。



排気口、吸気口をふさがない

吸排気口をふさいだことによる熱で、やけどをする恐れがあります。

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと感電の原因となります。

指定された部品を使用する

指定以外の部品を使用すると火災や感電および故障や事故の原因となります。電池、フィルターは指定されたものを使用してください。

付属の電源コードを使用する

付属の電源コードを使用しないと火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードの挟み込みによりコードが傷付くと感電の原因となります。

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む

電源コードは完全に挿入しないと接触不良により火災の原因となります。

容量の低い延長電源コードを使用しない

電源の延長には定格に余裕のあるコードを使用しないと発熱によりショートや火災、感電の原因となります。

レンズを覗かない

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm以上離して使用する

電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となる恐れがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入り故障や火災の原因となります。

お手入れの際は電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると感電や火傷の原因となります。

電源コードのアース端子からはずした絶縁キャップなどの小さな部品は、幼児が飲み込む恐れがあるので、幼児の手の届かないところへ保管する

お子様が誤って飲み込み、窒息死の恐れがあります。

内部を開けない

不用意に分解したり改造すると火災や感電の原因となります。

長時間の外出、旅行の時は電源プラグを抜く

長時間の不在時に電源を接続したままにしておくと思わぬ事故を招く恐れがあります。

注意 下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

本機を運搬するときは落下に注意する

本機を持ち運ぶときは落下にご注意ください。落下するとプロジェクターが壊れたり、けがの原因となります。

運搬するときは必ず左右側面を2人で持つ

運搬するときは、必ず指定の位置を持ち、2人以上で運搬してください。

運搬・移動は慎重に行う

プロジェクターを持ち運ぶ際、落下させるとけがやプロジェクターの破損の原因となります。

本機を立てておかない

縦置きすると倒れて思わぬ事故の原因となります。

湿気やほこり、油煙、湯気が多い場所、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

機器を油煙・湯気・湿気・埃の多い場所に設置すると、故障により火災や感電の原因となります。

床置きおよび天吊り以外の設置をしない

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

水のある場所に置かない

水のあるところに設置すると感電の原因となります。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない

排気口やレンズの近くにスプレー缶などの発火物を置くと火災の原因となります。

不安定な場所に置かない

プロジェクターが落下してけがをする恐れがあります。

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない

熱感知器、煙感知器のそばに設置すると装置が作動して思わぬ障害の原因となります。

梱包用のレンズ保護キャップを付けたまま投写しない

発熱による故障や火災の原因となります。

脚部調整時に指を挟まない

調整用足の調整を慎重に行わないと挟みこみ等で指をけがする恐れがあります。

レンズシフト調整時に指を挟まない

レンズ調整時やピクチャーポジション機能の使用時はレンズ付近に触れないでください。指を挟み、けがの原因になることがあります。

製品の上に物を載せない

重量物や物を載せると故障や事故の原因となります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない

落雷による感電の恐れがあります。

排気口付近に手や物を近づけない

排気口周辺の高温部に触れると軽い火傷をする危険があります。

排気口、吸気口を覗かない

排気口、吸気口を覗くと強い光で目を傷つける原因となります。

本製品を使用中に他の機器の電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。

電源コード、接続コードに足を引っ掛けない

電源コードや接続コードを足に引っ掛けて転倒したり、落下によるけがの原因となります。

ぬれた手で電源プラグに触らない

ぬれた手でプラグに触れると感電する危険があります。

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らない

遮った物体が変形して発煙発火の恐れがあります。

設置の際、本機と設置部分での指挟みこみに注意する

設置の際、本機と設置部分で指を挟み、けがをする恐れがあります。

天吊りする場合の安全上のご注意



天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない

天井への取り付けは必ずソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。

落下防止をする

天吊りする場合、必ずワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。その施工は、専門の設置業者に依頼してください。

特約店様へ

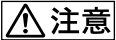


天井への取り付けには細心の注意をはらう

- 天井への取り付け強度が不十分だと、落下により死亡や大けがにつながる場合があります。必ずソニー製または推奨の取付金具を使用してください。
- 取り付けを安全に行うために、本書および取付金具説明書の注意事項をお読みください。
- 取り付けは、取付金具説明書の手順に従い確実に行ってください。取り付けが不完全な場合、落下する可能性があります。また、取り付け時には手をすべらせてプロジェクターを落下させ、けがをすることのないようご注意ください。

調整用工具を内部に入れない

調整中などに、工具を誤って内部に落とすと火災や感電の原因となることがあります。万一、落とした場合は、すぐに電源を切り、電源コードを抜いてください。



低い天井に天吊りしない

頭などをぶつけてけがをすることがあります。

天吊りを行う際は必ず天井の強度を確認する

天井の強度を確認しないまま設置すると落下による事故の原因となります。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機で使用可能な乾電池についての注意事項を記載しています。

警告

- 機器の表示に合わせて⊕と⊖を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多い場所で使用しない。
- 液漏れした電池を使用しない。
- 電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは本体から取り出す。

注意

- 外装チューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。
- 火のそばや直射日光が当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。

3Dメガネの電池を交換／廃棄するときのご注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。

必ず指定の電池に交換してください。

使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

3D映像視聴について

注意

- 3D映像をご覧になる以外には3Dメガネを使用しないでください。
- 3D映像の視聴中や3Dテレビゲームのプレイ中に、眼の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出る場合があります。3D映像を視聴したり、3Dテレビゲームをしたりするときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断してください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D映像の視聴や3Dテレビゲームのプレイをやめ、必要に応じて医師に相談してください。本機と一緒に使用する機器やソフトの取扱説明書もあわせてご覧ください。なお、お子様(特に6歳未満の子)の視覚は発達段階にあります。お子様が3D映像を視聴したり、3Dテレビゲームをプレイする前に小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子様が上記注意点を守るよう監督してください。
- 大人の監視がない場合、お子様だけのご使用はなさらないでください。
- ヒンジ(折りたたみ部)に指などを挟みこまれないようご注意ください。
- 3Dメガネを落としたり改造したりしないでください。
- メガネのレンズが割れた際は、目や口に破片が入らないようにしてください。

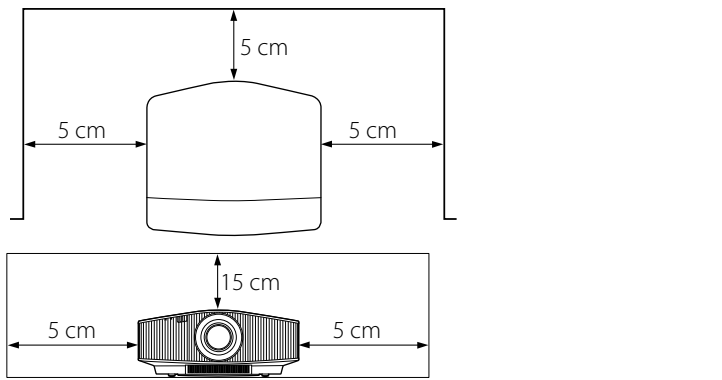
設置・使用時のご注意

設置に適さない場所

次のような場所には置かないでください。故障や破損の原因となります。

壁の近く

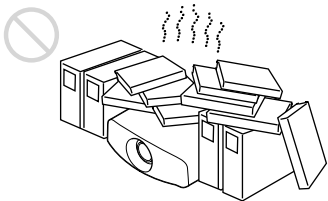
本機の性能信頼性のために、図のように周囲の壁から離して設置してください。



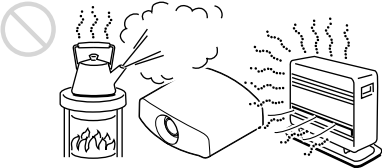
排気口側の壁は高温になる恐れがありますのでご注意ください。空調からの風や、本機またはほかの周辺機器からの排気などの影響で、まれに画面にゆらぎが発生する場合があります。空調の風やこれら排気が本体前面に回り込まないよう設置にご注意ください。

風通しの悪い場所

本機の周囲から30 cm以内には物を置かないようにしてください。

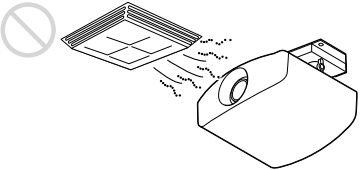


温度や湿度が非常に高い場所



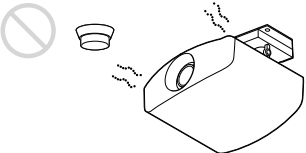
空調の冷暖気が直接当たる場所

結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

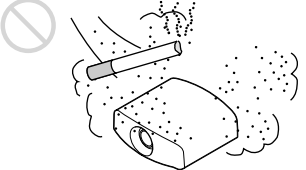


熱感知器や煙感知器のそば

感知器が誤動作する原因となることがあります。



ほこりが多い場所、たばこの煙などが直接入る場所

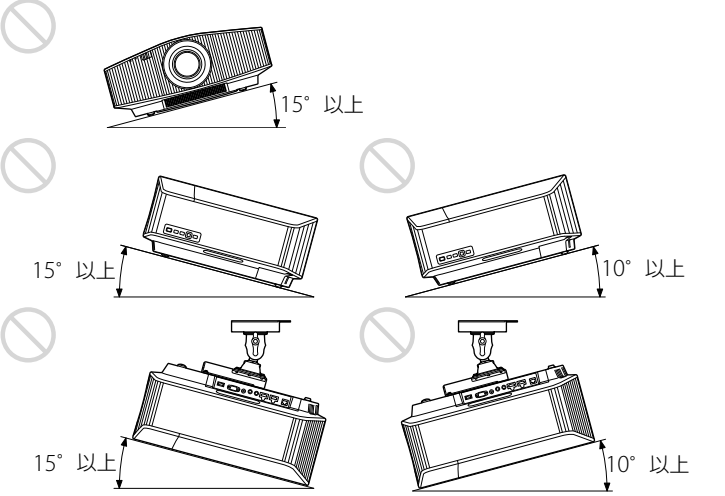


使用に適さない状態


次のような状態では使用しないでください。

本機を前後左右に傾ける

本機を下図の角度以上傾けたり、床置きおよび天吊り以外での設置でお使いになることは避けてください。色むらの原因となることがあります。本機を前後に傾けて配置するとスクリーン上の画像は台形状になります。スクリーンとレンズは平行となるように配置してください。



標高の高い場所でご使用になる場合

海拔1,500 m以上の場所でのご使用に際しては、「 初期設定」メニューの「高地モード」を「入」にしてください。そのまま使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

使用上のご注意

光源まわりの点検について

本機はレーザーを使用しているため、光源まわりの点検等の整備を行う場合は、特別な注意と環境が必要です。必ずソニーの相談窓口にご依頼ください(有料)。

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えなかったりすることがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。これらは、プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。また、複数台の液晶プロジェクターを並べてスクリーンへ投写する場合、プロジェクターごとに色合いのバランスが異なるため、同一機種の組み合わせであってもそれぞれ色合いの違いが目立つ場合が

あります。

結露について

プロジェクターを設置している室内の急激な温度変化および、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだときなどは結露を引き起こすことがあります。結露は故障の原因となりますので、冷暖房の温度調節にはご注意ください。結露が起きたときは、プロジェクターの電源を入れたまま約2時間放置した後でお使いください。

セキュリティに関するご注意

- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上で使用ください。
- セキュリティの面から、製品をネットワークに接続してご使用になる際は、ブラウザでコントロール画面にアクセスし、アクセス制限設定を工場出荷時の設定値から変更して設定することを強く推奨します。(取扱説明書の「ネットワーク機能」参照)また、定期的にパスワードを変更することを推奨します。
- 設定作業中または設定作業後のブラウザで他のサイトを閲覧しないでください。ブラウザにログインした状態が残りますので、意図しない第三者の使用や悪意のあるプログラムの実行を防ぐために、設定作業が完了したら必ずブラウザを終了してください。

一般家庭用以外での使用による故障や損傷、または、それに伴う損害等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。

必ず指定の電池に交換してください。

使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

ご注意

LAN端子の接続について

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。

警告

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。

電池の使用に関するご注意


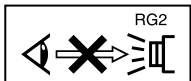
リモコンには、単3型乾電池が2個必要です。

破裂の原因となりますので、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池以外は使わないでください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

	レーザー クラス1	JIS C6802:2014 クラス1 レーザー製品
	明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。 RG2 IEC 62471-5:2015	

警告

レンズをのぞかない。投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと、強い光が目には悪影響を与えることがあります。

注意

ここに規定した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の被ば

くをもたらします。

注意

本製品に対し光学機器を使用すると、目に対する危険が高まります。

本機使用上のご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談して下さい。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

連絡先：ソニーご相談窓口

2.4 F H 1	この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10 m です。
-----------	---

本機器には、技術基準適合証明を受けた特定無線設備が収納されております。

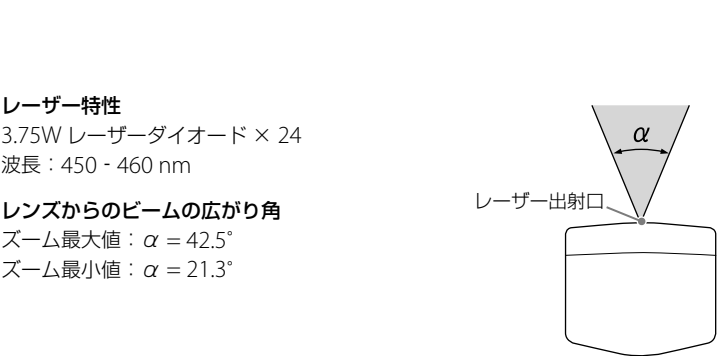
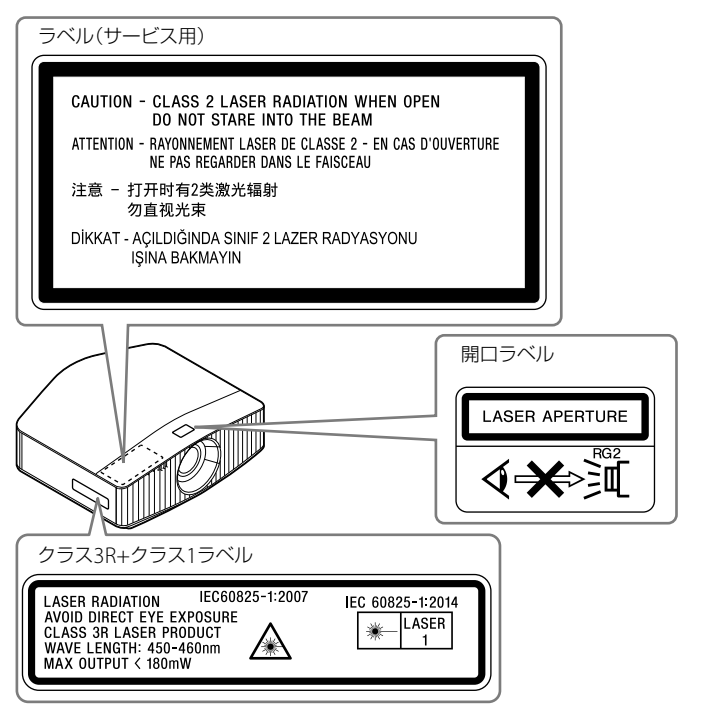
3Dメガネについて

3D信号表示のため、3DメガネはプロジェクターとBluetooth技術にて通信を行います。

(a) 無線装置が動作する周波数帯域：2.4 - 2.4835 GHz

(b) 無線装置が動作する周波数帯域で放出される最大高周波電力：4.30 dBm (E.I.R.P.)

ラベルの位置情報



レーザー特性
3.75W レーザーダイオード × 24
波長：450 - 460 nm

レンズからのビームの広がり角
ズーム最大値：α = 42.5°
ズーム最小値：α = 21.3°